令和7年1月教育委員会定例会 議事録

日時 令和7年1月16日（木）

場所 県庁行政棟7階「教育委員会室」

令和7年1月教育委員会定例会 議事録

開 催 日 時	令和7年1月16日（木） 15時00分
開 催 場 所	長崎県庁行政棟 教育委員会室
出 席 委 員	前川教育長、本田委員、嶋崎委員、芹野委員、松山委員、郷野委員
出 席 職 員	狩野教育次長、坂口教育次長、犬塚教育政策課長、岡野義務教育課長、谷口義務教育課人事管理監、田川高校教育課長、岩坪高校教育課人事管理監、長池児童生徒支援課長、加藤生涯学習課長、岩尾学芸文化課長、鬼塚学芸文化課企画監
開 会 新 委 員 紹 介	<p>(前川教育長) それではただいまから1月定例会を開会いたします。 議事に入ります前に、委員の皆様にご紹介をさせていただきます。廣田委員、伊東委員のご退任に伴いまして、令和6年12月18日付で、本田道明委員、郷野和代委員が県議会の同意を得て新たに教育委員に就任されました。どうぞよろしくお願ひいたします。 それでは本日の議事録署名委員を私から指名をさせていただきます。議事録署名委員は、本田委員、松山委員の両委員にお願いを申し上げます。次に、12月定例会の議事録は、各委員に送付をさせていただきます。承認してよろしいでしょうか。</p>
前 回 会 議 録 承 認	<p>「異議なし」と呼ぶ者あり</p>
	<p>(前川教育長) ありがとうございます。ご異議ないようですから、前回の議事録は承認することにいたします。それでは各委員ご署名をお願いいたします。 本日提案されている議題のうち、冊子2及び冊子3につきましては、教育委員会の会議の非公開に関する運用規程により、非公開として協議を行いたいと思っておりますが、御異議ございませんか。</p>
	<p>「異議なし」と呼ぶ者あり</p>
冊 子 1 報 告 事 項 (1)	<p>(前川教育長) 御異議ないようですので、そのように進めていきます。 それでは「定例教育委員会 冊子1」について審議いたします。報告事項(1)について説明をお願いします。</p> <p>(長池児童生徒支援課長) 児童生徒支援課から『長崎っ子の心の教育週間』の取組結果等について」ご報告いたします。冊子1の1ページをお開きください。</p>

	<p>概要にありますように、今年度も各学校において、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目指して、学校と保護者や地域住民が連携した様々な取組を実施してまいりました。実施期間につきましては、5月から7月及び9月から11月の一定期間として、各学校が実情に応じて弾力的に取り組めるようにしてまいりました。「2 実施状況」をご覧ください。期間中の学校への訪問者は、昨年度よりも9,691人多い、95,675人となりました。また、協力者につきましても、昨年度より2,362人多い、16,274人となり、訪問者数、協力者数ともに、新型コロナウイルスの影響を受けた、令和2年度以降最高値となりました。各学校が保護者や地域の連携・協働を重要視し、意識を高く持って取組を実施したことが伺えます。次年度以降におきましても、学校と地域との連携等の強化を促し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という機運を高めてまいりたいと思っております。</p> <p>次に、2ページの(2)をご覧ください。各学校では、学校で取り組む5項目に従って、命を尊重し、大切にしている心情の育成や情報モラル教育、いじめ防止等に係る具体的な取り組みが実施されております。なお、今年度の各学校の取組例といたしましては、(3)に記載のとおりでございますので、ご確認をお願いいたします。また、「(4)『SNSノート・ながさき』を活用した情報モラル教育の実施」についてですが、今年度の実施率は前年度から1ポイント増の98%でした。情報モラルの学びを通して、自己を理解、他者等を含め、相手の立場に立った言動などを大切にしている心情を育むことができたものと考えております。なおこれは先日ご報告いたしましたが、今年度この「SNSノート・ながさき」を改訂した、「GIGAワークブックながさき」を各学校に配付いたしております。今後は、「GIGAワークブックながさき」の活用を推進しつつ、情報モラル教育及び情報活用能力の育成を図ってまいりたいと思っております。以上、次年度におきましても、取組内容や日程、参加形態等を工夫しながら、学校と家庭、地域との結びつきを強め、命を輝かせていける心豊かな長崎っ子の育成を目指す取組を一層充実させるよう取り組んでまいりたいと思っております。以上ご報告いたします。</p> <p>(前川教育長)</p> <p>ありがとうございます。ただいまの報告に対しまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>(芹野委員)</p> <p>訪問者数とか協力者数の絶対値が上がっていることはわかりますが、相対値としてはどのように見れば良いのでしょうか。長崎の全体の生徒に対して何割くらいが、こういう取組に参加されているのか、参考までにお聞きしたいと思います。</p>
--	--

質

疑

<p>報告事項（２）</p>	<p>（長池児童生徒支援課長） 資料１ページに参考としてつけております、「訪問者数等の推移」のところでイメージを持っていただければと思っております、その１校あたりの過去の数字になりますが、その辺りで見いただければ、先ほど説明いたしましたとおり、ここ数年からすると多くの方に参加していただき、協力していただいているのではないかとイメージしているところでございます。</p> <p>（前川教育長） 他にございませんでしょうか。それでは、他にご意見等なければ、続いて報告事項（２）について説明をお願いします。</p>
<p>質 疑</p>	<p>（岩尾学芸文化課課長） 冊子１の３ページをご覧ください。「第７０回記念長崎県小・中学校児童生徒美術作品展『子ども県展』」についてご報告いたします。４ページの方にチラシと、机上の方に作品集を配布させていただいておりますので、併せてご覧いただければと思います。「子ども県展」についてですが、小・中学生を対象とした県下最大の美術作品展として、昭和３１年から開催しております、今回で７０回目を迎えます。絵画・版画・デザイン・立体の部門に応募があった１０万件を超える作品の中から、特別賞、特選に選出された８３０作品の展示を中心に、１月２１日から、長崎県美術館での総合展を皮切りに、作品展を開催いたします。今回の「子ども県展」は、「ながさきピース文化祭２０２５」の応援事業として、国民文化祭の周知とともに、ふるさとを再認識していただきたいという願いも合わせまして、巡回展につきましては、国登録有形文化財の波佐見町講堂と、令和４年に開館しました対馬博物館で開催したいと考えております。また、特別賞に選出された４２名の児童生徒の皆さんには、１月２６日に、県庁にて表彰式を行い、賞状と記念品の授与を行います。加えて、第７０回記念事業として、少し先になりますけれども、来年度のながさきピース文化祭期間中に開催される、長崎県美術展覧会（県展）の長崎会場において、子どもと大人をつなぐ県展として、今回の特別賞４２作品を、一般の作品と一緒に展示させていただく予定としております。報告は以上でございます。</p>
<p>報告事項（３）</p>	<p>（前川教育長） ありがとうございました。 ただいまの報告に対して、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは続きまして、報告事項（３）について説明をお願いします。</p> <p>（鬼塚学芸文化課企画監） それでは報告事項（３）、『ちょっと見てみんなね！神楽の世界』に</p>

	<p>ついて」ご説明いたします。資料5ページをご覧ください。地域の伝統芸能、それから民俗芸能につきましては、その継承、いかに後継者を確保していくかということが重要となってくるものと考えております。本年開催されますながさきピース文化祭は、このような、地域に伝わるかけがえのない文化を守り、未来につなげていく機運を高める絶好の機会であると考えておりまして、私どもとしても積極的に取り組んでまいりたいと考えております。その1つとして、来月2月24日月曜日、祝日になりますけども、ながさきピース文化祭のプレイベントをといたしまして、国指定の重要無形民俗文化財でございます、県内の3神楽の公演イベントを開催することとしております。記載しておりますとおり、場所は、JR長崎駅のかもめ広場に特設ステージを設けまして、五島神楽、壱岐神楽、平戸神楽のそれぞれの団体ごとに、4演目程度ご披露いただくこととしております。開演は13時からで、オープニングセレモニーとしまして、希望が丘高等特別支援学校の和太鼓部による演奏も予定しております。もちろん、観覧は無料となっております。長崎県の3つの神楽を同時にご覧いただけるまたとない機会であり、当日、1人でも多くの方にお越しただいて、民俗芸能の魅力に触れていただけるよう、そしてピース文化祭に向けた機運を高めていけるよう、今後広報にも力を入れてまいりたいと考えております。以上、ご報告といたします。</p> <p>(前川教育長)</p> <p>ありがとうございました。ただいまの報告に対して、ご質問、ご意見等はございます。よろしいでしょうか。</p> <p>それではご質問等なければ、以上で報告事項を終了いたします。次の審議から非公開で行いますので、報道関係者の方は恐縮ですが、ご退室をお願いいたします。</p>
質	疑
冊	子
冊	子
2	(別紙議事録)
3	(別紙議事録)
	<p>16時30分、本日の会議を終了</p>